

カルボプラチン+ペメトレキセド+ベバシズマブ療法を受けられる患者様へ

治療について

この療法は、カルボプラチンとペメトレキセド（商品名：アリムタ）とベバシズマブ（商品名：アバスチン）という違う作用の抗がん剤を組み合わせる治療です。

ベバシズマブはがん細胞に伸びてくる血管を抑えて、がん細胞に栄養や酸素を与えないようにします。分子標的薬とも呼ばれています。

投与スケジュール 今日（ / ）は サイクル 日目

1日目に2種類の抗がん剤を点滴で投与します。
21日間を一区切り(1コース)とします。



ここに示したスケジュールは参考であり、患者さんの状態や副作用によって変更することがあります。

点滴で投与する薬について

デキサメタゾン
パロノセトロン

吐き気止めのお薬です。
30分かけて投与します。

ペメトレキセド (mg)

抗がん剤です。
10分かけて投与します。

生理食塩液

お薬の間隔をあけるために
30分かけて投与します。

カルボプラチン (mg)

抗がん剤です。
60分かけて投与します。

生理食塩液

お薬を洗い流します。
5分かけて投与します。

ベバシズマブ (mg)

抗がん剤です。
30分かけて投与します。

生理食塩液

お薬を洗い流します。
5分かけて投与します。

副作用について

自覚できる副作用

アレルギー反応
急性嘔吐

熱感・かゆみ・動悸などの症状が現れたら、すぐにお伝えください。

遅発性嘔吐
食欲不振
便秘 倦怠感

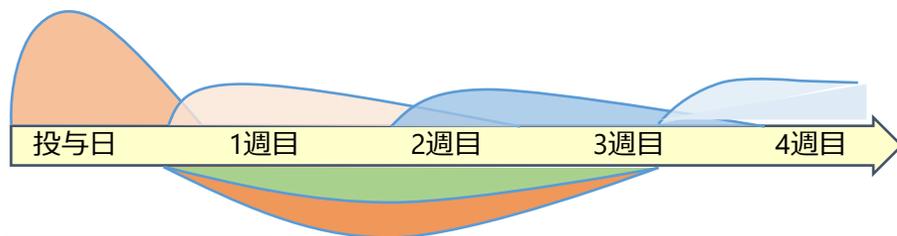
気持ちが悪い時には我慢せずに申し出てください。他にもお薬があります。

口内炎 下痢

口内炎・下痢・便秘にはお薬が有効です。遠慮せずに申し出てください。

脱毛
味覚の変化

髪の毛は、治療終了後半年くらいで再び生えてきます。



自覚できない副作用

肝障害 腎障害

白血球減少
血小板減少
貧血

感染予防のため、手洗いをこまめにしっかりと行いましょう。38℃以上の発熱がある場合は病院に連絡をして下さい。

ベバシズマブの副作用について

治療の継続に伴い、**高血圧**、**タンパク尿**がみられることがあります。血圧を下げる薬を使用することがあります。重篤な副作用として、**出血**、**消化管穿孔**、**血栓塞栓症**などが報告されています。血が止まらない、通常と異なる激しい痛みが生じた場合には、直ぐに病院に連絡してください。

内服薬について

1日目	2日目	3日目
		

吐き気止めのお薬です。吐き気が無くても服用してください。

副作用を予防する薬について

ビタミンB12

9週ごとに筋肉注射をします。

葉酸（商品名;パンビタン）

1日1回 服用します。